

医学研究実施のお知らせ

横浜労災病院倫理委員会の審査を受け、平成 29 年 4 月から「インフルエンザ菌の各種抗菌薬に対する感受性変化の動向調査」に関する研究を行うことになりました。

本研究は、当院で検出されたインフルエンザ菌の抗菌薬に対する感受性について分析します。研究対象は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日に当院にて採取されて同中央検査部 細菌検査室にて凍結保存されているインフルエンザ菌の菌株を対象としています。

全ての試料に対し、匿名化処理を行ないますので、被験者の方の個人情報は保護されます。研究の被験者となることを希望なされない場合、お申し出いただければ、ただちに研究対象から除外いたします。

この研究にご質問のある方は、下記の連絡先までお申し出ください。

研究対象

2016 年 4 月～2020 年 3 月に当院で採取された検体（血液・喀痰等）から検出されたインフルエンザ菌の臨床分離株。

研究目的・方法

【目的】

横浜労災病院において、通常診療の中で採取されたインフルエンザ菌を使用し、それらの各種抗菌薬に対する感受性の変化を調査・研究する。

【方法】

本研究は、当院に凍結保存されているインフルエンザ菌、インフルエンザ菌が分離された患者の疾患、検体の種類（喀痰、髄液など）、薬剤部の抗菌薬使用量データを使用した後ろ向き研究とする。

当院 中央検査部 細菌検査室で凍結保存されているインフルエンザ菌の臨床分離株を東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室へ運搬し、実験を行う。

【研究期間】

2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報の種類

試料：当院で採取された検体（血液・喀痰等）から検出されたインフルエンザ菌の臨床分離株

外部への試料・情報の提供

本研究中のデータの取り扱い、匿名化番号をつけ対応表に記入する方法で連結可能匿名化処理を行った上、パスワード管理された薬剤部内のネットワークに接続されていないパソコンを使用し、かつデータファイルにもパスワード管理する。対応表のデータは USB に保存し、附属病院薬剤部内に設置された鍵のかかるロッカーに保存する。紙媒体も同ロッカーにて保管し、セキュリティ対策を万全に行う。

研究組織

東京薬科大学薬学部病原微生物学教室 野口 雅久

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

住所：神奈川県横浜市港北区小机町 3211

横浜労災病院 薬剤部

研究代表者 原 直己 (はら なおき)

TEL : 045-474-8111 (内線 5855)